

患者さんの声～私のがん体験記 in メディカルサロン・すまいる～

患者さんの体験談 vo4. 2018. 4.10

- ・性別：男性
- ・年齢：80歳（診断を受けた年齢76歳）
- ・疾患名：進行性胃がん（StageⅢb）
（呉羽総合病院・外科にて胃全摘術、化学療法終了）

私の病気

2013年当時、帯状疱疹で呉羽総合病院の外科にお世話になったのがきっかけで、その後は腰痛等で定期的に通院していました。2014年夏、お腹の痛みで主治医の緑川先生に相談したところ、直ぐに内視鏡検査をしてもらいました。その結果、先生から告げられたのが進行性胃がんでした。自分でも胃がんではないかと薄々感じていたので、先生から病名、手術の必要性の説明を受けた際、「直ぐに手術をして下さい」とお答えしました。

手術と入院

内視鏡検査の翌日、直ちに入院となり、手術に向けた準備が始まりました。私の場合、心臓病も患っており、ペースメーカーが埋め込まれています。主治医の先生からは循環器内科の先生にもご紹介頂き、心臓のお薬やペースメーカーの調整も万全にして頂いた上で、安心して手術に臨むことができました。手術を下された呉羽総合病院の主治医の先生、循環器内科の先生、支えて下さった看護師さんに心から感謝申し上げます。

経過と現在

術後の経過は非常に良好で、2週に1度、外来で抗がん剤治療を2年間受けました。抗がん剤治療中は白血球の減少、体重の減少、めまい、抜け毛がありました。辛くはありませんでした。特に気分転換になったのは、メディカルサロン・すまいるの存在でした。感染症、食事療法、体力維持、薬剤等の勉強会に参加し、さまざまな話を聞くことができ、とても参考になり楽しい一時を過ごさせて頂いております。現在、抗がん剤治療は終了しておりますが、定期的に受診をしています。私にとって、呉羽病院のスタッフの皆様、そしてメディカルサロンの存在は大きな力になっております。今後ともよろしくお願いいたします。



2018年4月10日

メディカルサロンで「春の留意点」と題して緑川院長の勉強会が行われた時の様子



メディカルサロンの勉強会に参加し真剣に話を聞いている参加者の皆様